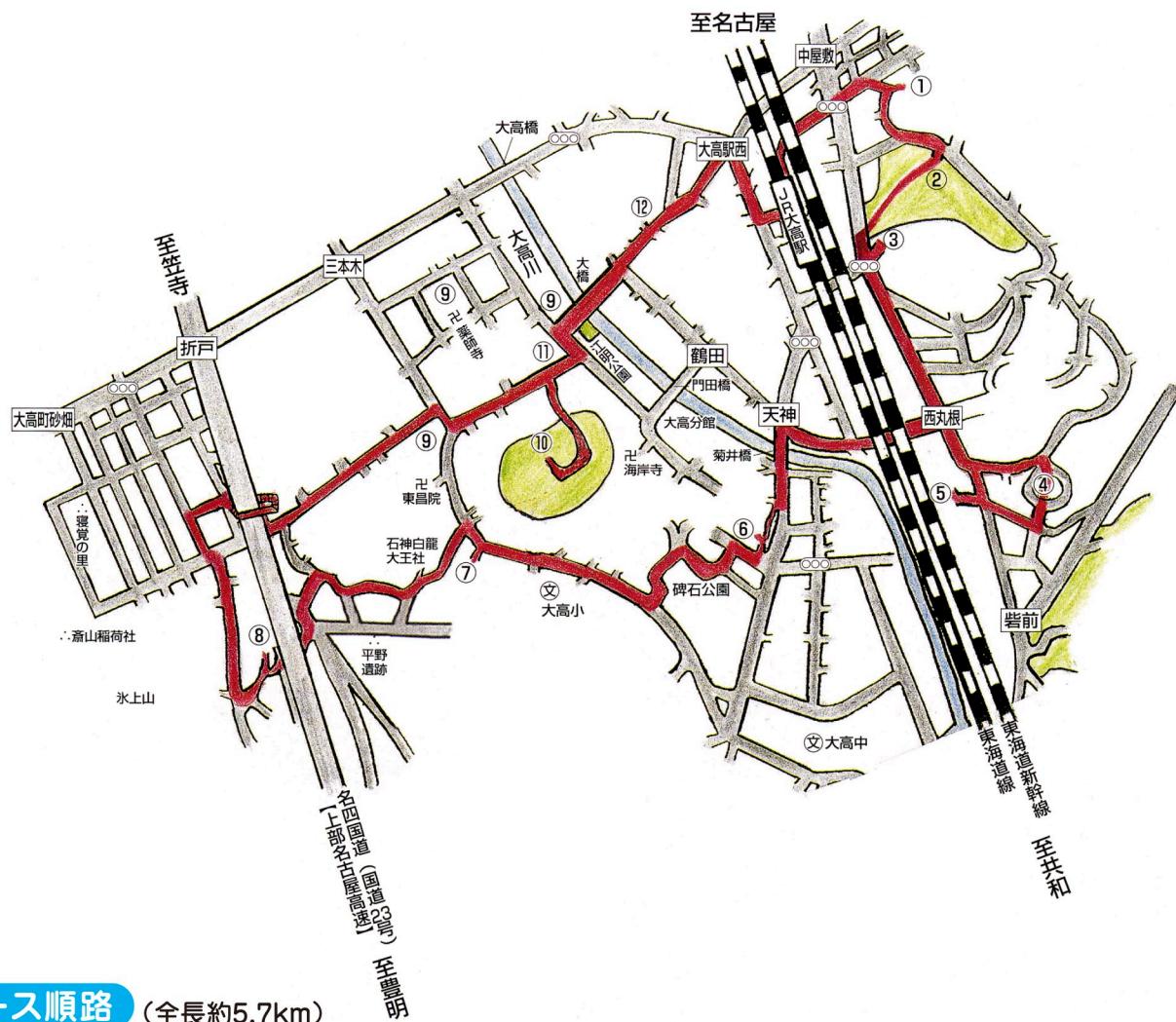


史跡散策路 大高城下コース

緑区



コース順路 (全長約5.7km)



コースガイド

③長寿寺 (ちょうじゅじ) (知多四国87番霊場)

臨済宗、草創年月は不詳。本尊は阿弥陀如来座像。当初は真言宗長祐寺と称したが桶狭間合戦のとき、兵火によって焼失。大高領主志水忠繼の子忠時は祖母長寿院の禪寺建立の遺命に従い、天和2年(1682)に伽藍竣工し、宗派を黄檗宗に寺号を長寿寺に改めた。その後元禄4年(1691)に臨済宗に改派した。

⑤山神社 (やまがみしゃ)

祭神は大山祇命、創建は不詳。当初は山仕事、獵師の人達が安全を願って祀ったものであろう。以前は樹木繁茂し、昼でも暗い社叢をなしていたが、伊勢湾台風での旧觀がみられなくなった。

⑥津島社 (つしましゃ)

祭神は素戔鳴尊、創建は不詳だが、寛文覚書には「天王」天和2年(1682)と記され、寺社方書付之書には「天王社内2反5畝、前々御除」と記されていることからそれが以前の古社であろう。江明地区の氏神で、俗に「お天王さま」ともいわれている。

⑦春江院 (しゅんこういん)

曹洞宗、弘治2年(1556)水野大膳(大高城主)が創建。本尊は多宝如来。本堂は文政13年(1830)に、入母屋造りの鐘楼は慶応元年(1865)に再建された。書院は有松紋の開祖竹田庄九郎宅のものを移築。特に襖絵の「白さぎ」は狩野永秀の筆である。また、静けさと奥深さとの配合の美しさが見られる下村実栗作成の庭がある。(平成17年国登録文化財)

⑧水上姫子神社 (ひかみあねごじんじゃ)

祭神は宮簀媛命。仲哀4年(195)の創建。熱田神宮の摂社で延喜式内社。宮簀媛命は日本武尊が東征の帰途この地に留まられた際に結婚され、尊が亡くなった後草薙神剣を奉斎守護して、やがて熱田神宮におまつりした。こ



れが熱田神宮の創祀である。その後持統4年(690)に現在地に移した。境内末社として、元宮、神明社、玉根社が現存している。北側の斎田では6月に御田植祭が行われる。

⑨酒蔵 (さかぐら)

大高川の左岸(南方向)に煙突や黒囲いの酒蔵の町並みがある。大高町の酒造の起源は不詳だが、かなり古くからあったらしく、酒株帳によると大高村200石という記録があり、樽舟によって遠くは江戸まで送られていたことからとても盛んであったといえる。現在は三軒で清酒醸造が行われている。

⑩大高城跡 (おおだかじょうあと)

築城年代は不詳。永正年間(1504~20)の頃は花井備中守が、天文・弘治の頃には水野忠氏父子が居城した。桶狭間合戦のときには、今川の支配下にあり、松平元康(徳川家康)の兵糧入れは有名である。合戦後元康は三河に帰り、廃城となった。その後、元和2年(1616)志水忠宗が三の丸に宅を設けたが明治3年(1870)に廃した。(昭和13年国指定文化財)

⑪秋葉社 (あきばしゃ)

祭神は迦具突地神、創建は不詳。

⑫八幡社 (はちまんしゃ)

祭神は応神天皇、神功皇后、玉依姫命。神木はクロガネモチ。室町時代に花井備中守(大高城主)が鶴岡八幡宮の分身を迎えたと伝えられている。

